

ごあいさつ



旭川市長

西川 将人

記念すべき第50回全国実業団対抗テニス大会（ビジネスパル・テニス）が本市で盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、全国各地からお越しいただきました選手並びに関係者の皆様に旭川市民を代表して心より歓迎申し上げます。

本市は北海道のほぼ中央部に位置し、北海道の最高峰旭岳をはじめとする大雪山連峰に抱かれた自然豊かな環境にあり、山々からの清流により石狩川をはじめとする大小160を超える河川に囲まれた「川のまち」であります。

こうしたまちの特徴を生かし、市内には河川敷をはじめ、多くの公園に無料で使用できるテニスコートが整備され、気軽に楽しめる身近なスポーツとして市民の中にもテニス愛好者は多く、幅広い年代の方々に親しまれています。

本大会では全国各地から予選を勝ち抜いた実業団の強豪チームにより、ハイレベルな戦いが繰り広げられるものと存じますが、その高い技術に触れられる機会は大変貴重であり、日々その技術に磨きをかける愛好者にとってだけでなく、本市スポーツ振興の推進にも大いに刺激を与えられることと存じます。

選手の皆様におかれましては、日ごろの練習の成果を存分に発揮され、各地区の代表として白熱した試合を繰り広げられますとともに、悔いのないよう精一杯戦い抜かれることを期待申し上げます。

また、本市には、4月に新施設「両生類・は虫類舎」と「タンチョウ舎」がオープンした旭山動物園をはじめとする多くの見どころがあり、さらには、物流の拠点として北海道各地から新鮮な食材が集まる食べどころとしても豊富な魅力を有しております。試合後はぜひ、全国から集まったテニスを愛好する仲間とともに旭川の魅力を存分に楽しんでいただければと存じます。

最後になりますが、本大会の開催にあたり御尽力いただきました財団法人日本テニス協会と北海道テニス協会の限りない御発展、並びに皆様方の今後一層の御健勝と御活躍を心から祈念申し上げ、歓迎のごあいさつといたします。

ごあいさつ



財団法人 日本テニス協会
実業団委員会委員長

矢澤 猛

このたびの東日本大震災により災害を受けられました皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く復興されますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年の大会は北海道帯広市で開催し、その自然の豊かさや爽やかな気候に恵まれ、選手チームのみならず関係者一同とても素晴らしい大会を楽しむことが出来ました。今年度も元気いっぱい北海道、山田委員の情熱で、大変な作業となりますが引き続き大雪山連峰に抱かれた自然豊かな北海道旭川市での開催が出来ることになりました。これも北海道テニス協会、旭川テニス協会、旭川市、並びに運営関係者の皆様のご好意、ご尽力の賜物と感謝いたします。

さて厳しい予選を勝ち抜き、ここ旭川市にお集まりいただいた各チームの皆さん、おめでとうございます。そしてこの3日間の大会では日頃の練習成果を遺憾なく発揮され、「なでしこジャパン」から学んだように、最後まであきらめずに優勝目指して素晴らしいテニスを披露していただきたいと思います。ご存知かと思いますが、今年7月に日本にて開催されたデビスカップ戦、フェドカップ戦では共に勝利を収め、デ杯はワールドグループプレイオフに駒を進め、フェド杯はワールドグループⅡへの復帰を果たしました。皆さんのビジネスパルチームも少しの技術的な差はあっても同じ団体戦です。優勝への意気込み、チーム力はそんなに変わらないのではないのでしょうか。是非、団体戦特有の緊張感と醍醐味を味わっていただき、そして試合以外の時間では他チームとの交流を深め、旭川での3日間を楽しんでいただきたいと思います。

最後になりますが、東日本大震災後の厳しい状況の中、ご後援頂いております朝日新聞社様、旭川市、ご協賛頂いておりますブリヂストンスポーツ株式会社様、北海道旅客鉄道株式会社様、ご協力頂いております旭川テニス協会をはじめ、ご支援を頂いております関係各位にお礼を申し上げ、ご挨拶と致します。